実施マニュアル

令和3年度

愛のふれあい交流事業

＝ もくじ ＝

概　要

- 愛のふれあい交流事業の概要 …… 1ﾍﾟｰｼﾞ
- 愛のふれあい交流事業実施手順 …… 2ﾍﾟｰｼﾞ
- 新型コロナウイルス感染症に気をつけて 地域交流の集い活動に参加するための留意点 …… 3ﾍﾟｰｼﾞ

申請・報告

- 申請･報告様式記入例 …… 4～7ﾍﾟｰｼ
  - ▶【第1号様式】記入例 …… 4ﾍﾟｰｼﾞ
  - ▶【第2号様式】【第3号様式】記入例 …… 5ﾍﾟｰｼﾞ
  - ▶【第4号様式】記入例(申請のとき) …… 6ﾍﾟｰｼﾞ
  - ▶【第4号様式】記入例(決算･終了報告のとき) …… 7ﾍﾟｰｼﾞ
- 愛のふれあい交流事業(地域交流の集い活動) 助成金の透明性の確保･適切な使途のお願い …… 8～9ﾍﾟｰｼ

ご案内

- 地域交流の集い活動に活用できる人材のページ …… 10～33ﾍﾟｰｼ
  - ▶ 公的機関の出前講座 …… 11～15ﾍﾟｰｼ
  - ▶ ボランティア団体･市民団体
    - ～福祉･ボランティア･健康･生活～　編 …… 16～20ﾍﾟｰｼ
    - ～趣味･娯楽･芸能･演芸～　編 …… 21～33ﾍﾟｰｼ
- ボランティア保険のご案内 …… 34ﾍﾟｰｼ
- よくある　お問い合わせ･質問「Q&A」 …… 35～38ﾍﾟｰｼ

この事業は、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

令和3年4月

江別市社会福祉協議会

概　要

愛のふれあい交流事業の概要

愛のふれあい交流事業は、住み慣れた場所で馴染みの人達に囲まれながら、健康で安心して暮らすことを目的とした地域での助け合い活動です。

この事業は、**①愛のふれあい活動**と**②地域交流の集い活動**の２つの活動で構成しています

①愛のふれあい活動 は、安否確認を目的とし、ひとり暮らし高齢者などに対し、在宅での支援とそのための組織づくり活動です。

◆対象になる方はこんな方です

◎満６５歳以上のひとり暮らし世帯
◎江別市緊急通報システム及び社協福祉ベル設置世帯
◎障がい者・傷病者・高齢者（６５歳以上）のみで構成されている世帯
◎単位自治会長が、愛のふれあい活動が必要と認めた世帯

◆具体的な活動

◎対象１世帯につき１～３名程度の活動グループを編成します。
◎対象世帯を定期的に訪問し、安否確認や声かけ、必要に応じて生活支援活動を行います。

◆活動助成金等

これらの活動を実施する自治会に対し、年額1万円の助成とボランティア活動に対し、ボランティア保険の加入手続きを行い、費用の負担をいたします。

②地域交流の集い活動 は、愛のふれあい活動対象世帯や地域の高齢者･障がい者などのために助け合い活動の一環として、閉じこもりを防止し、心身のリフレッシュを目的に実施する身近な地域住民による交流活動です。

◆このような事業が対象になります。

対象者が５名以上で開催される昼食交流会・福祉学習会・ボランティアとの交歓会・日帰り温泉旅行など。

但し、対象世帯を中心としない行事や自治会主催以外の行事は対象とはなりません。

◆活動助成金

○1事業につき1万5千円以内を年間５事業まで助成します。
（１事業終了後余剰金が生じた場合、年度内に行う次の事業に繰越しできます。）
○その他に、民間バス等を借入して事業を実施した場合は、年間3万円以内を助成します。

愛のふれあい交流事業　実施手順

	愛のふれあい活動	地域交流の集い活動
❶ まずは、 活動計画から	ボランティア編成と活動計画の作成 愛のふれあい活動が必要と思われる方を選定し、1～3名程度のボランティアグループを編成します。 自治会役員・民生委員・ボランティアグループなどで活動計画を立てます。 活動計画は、定期的な安否確認を中心に、実情にあったメニューを作成してください。 （例：訪問・電話・カーテンの開け閉めなど）	集いの企画 〔場所〕集会場、個人宅、公園など 〔人数〕顔の見える範囲の人数が理想です 〔内容〕お茶会、〇〇講話会　など （みなさんの自由企画です）
❷ 申請書提出	第1・2・3号様式を記入し、社協へ提出	第4号様式（太枠左側）を記入し、社協へ提出
❸ 助成金交付	助成金決定通知が郵送され、指定口座へ助成金が振り込みになります。	
❹ 活動実施	～活 動 実 施～ 安否確認などの活動を実施します。 	～いよいよ集い開催～ みんなでお茶などを飲みながら、これからの楽しみ方等を話し合ってみるとよいでしょう。
❺ 報告書提出	必要なし	決定通知と合わせてお送りする第4号様式コピーの太枠右側を記入し、社協へ提出 民間バス等借上助成を受けている場合は、領収書コピーを添付

※申請期日は、令和3年5月 31 日（月）です。

期日までに年間の事業計画を立てていただき、なるべく年間事業数分まとめて申請してください（申請した開催日や事業内容等は変更になってもかまいませんので、その際は報告書に記載してください）。

なお、期日以降も申請は受け付けしておりますので、追加等があれば随時、申請書を提出してください。

新型コロナウイルス感染症に気をつけて

地域交流の集い活動に参加するための留意点

新型コロナウイルス感染防止に配慮して、地域交流の集い活動を実施するための留意事項（江別市ホームページより抜粋）をまとめていますので、参考としていただきますようお願いいたします。

≪留意点≫

「3つの密（密閉、密集、密接）」を避け、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い」を心がけましょう。

～感染拡大を防ぐためのポイント～

・毎日、体温を計測し、体調を確認しましょう。
・体調の悪いときは休みましょう。
・参加者名簿をつくり、記録するようにしましょう。
・症状がなくてもマスクを着用しましょう。
・こまめに、水と石けんで丁寧な手洗いまたはアルコールによる手指消毒を心がけましょう。
・1時間に2回以上の換気をしましょう。
・お互いの距離は、互いに手を伸ばしたら手が届く範囲以上空けましょう。
・会話をする際は、正面に立たないように気をつけましょう。

～体操など身体を動かす時～

・マスクを着けて運動をする場合は、無理をせず、早めに休憩を取りましょう。
・熱中症予防のため、こまめに水分補給や室温を調整しましょう。

～食べたり、飲んだりする時～

・座席は、横並びで座るなどの工夫を行いましょう。
・料理は個々に分けて、茶菓は個別包装されたものを選びましょう。
・食器・コップ・箸などは、使い捨てにしたり、洗剤で洗いましょう。

申請・報告

申請・報告様式記入例

▶ 愛のふれあい活動
・第1号様式(助成金申請書)・第2号様式(対象者名簿)・第3号様式(ボランティア名簿)に記入

▶ 地域交流の集い活動
・第4号様式(助成金　兼　精算報告書)に記入

第1号様式記入例

令和３年度　愛のふれあい交流事業（愛のふれあい活動）助成金　申請書

令和 3 年 4 月 20 日

江別市社会福祉協議会長　様

申請者　社　協　自治会	担当者【役職】　福祉部長
【会長】　福 祉　太 郎　㊞	【氏名】　介 護　次 郎
【住所】　錦町14番地87	【住所】　錦町 △番地 □◇
【電話】　385－1234	【電話】　38〇―〇〇〇〇

愛のふれあい交流事業　愛のふれあい活動を実施いたしたいので、関係書類を添えて申請いたします。

記

1．申　請　額　¥　1　0　0　0　0　円

2．助成金振込先

銀　行　名	〇〇〇〇　銀行 信金 農協　×　×　×　支店
口座番号	１２３４５６７
ふりがな	しゃきょうじちかい　かいけいぶちょう　けいり　はなこ
口座名義人	社協自治会　会計部長　経理　花子

口座名義は「自治会名」「自治会役職」等省略せずに記入してください。
正確に記入されていない場合、振り込みができない場合があります。

※振込先の口座名義は、通帳に記載してあるとおり、省略せず正確にご記入ください。

第2号様式記入例

対象者名簿

Ｎｏ.	氏　　名	住　　所	年齢	備考 (特記事項が無ければ記入しなくて可)
1	特川　家安	○×町　1－1	85	
2	小田　信長	〃　　1－12	82	
3	豊富　英良	〃　　3－5	77	

特記事項等がある場合は記入してください。なければ、記入しなくて構いません。

省　　略

１６	大泉　順一郎	〃　　12－7	69	
１７	中田　角英	〃　　15－13	90	
１８	中田　真樹子	〃　　15－13	88	
１９				
２０				

第3号様式記入例

ボランティア名簿

※１　ボランティア保険加入希望者全てに○印を記入して下さい。
※２　担当する世帯の様式第２号の対象者世帯Ｎｏ．を記入して下さい。

保険 ※１	氏　　名	住　　所	電　話	活動対象者Ｎｏ． または対象者氏名※２
○	山口　桃子	○×町　1－5	38□－□□□□	1
○	石原　勇一郎	〃　　1－11	38□－□□□□	1，2、4
○	北島　四郎	〃　　3－6	38□－□□□□	3、4

省　　略

○	和田　明夫	〃　　12－11	38□－□□□□	16
○	森田　新一	〃　　15－12	38□－□□□□	17、18
○	森田　雅子	〃　　15－12	38□－□□□□	16、17、18

ボランティア保険の加入を希望する場合は、必ず○印を記入してください。

担当する世帯の番号（第２号様式対象者Ｎｏ.）または、対象者氏名を記入して下さい。

第4号様式記入例（申請のとき）

（1）申請時は、太枠左側「事業計画・申請」欄のみ記入してください。

（2）解説と記入例

番号	解　説	記 入 例	
①	自治会名を記入します。	社　　協　　自治会	
②	申請年月日・会長名を記入し、自治会印または会長印を捺印。	下記の内容で申請いたします。 令和　3年　5月　1日 会長　福 祉　太 郎　㊞ 之自社治印会協	
③	申請事業名を記入。	ふれあい昼食交流会	
④	実施予定日を記入。日程が確定していない場合は「○月」や「○月頃」でも可。	令和　3 年 7 月 10 日（予定）	
⑤	開催予定場所を記入します。	総合社会福祉センター	
⑥	参加予定者を記入。参加者は確定していない場合がほとんどだと思いますので見込みで記入してください。 第2号様式の名簿に記載の方は「愛ふれ活動対象者」、それ以外の高齢者等は「愛ふれ活動以外の・・・」になります。	・愛ふれ活動対象者	15 名
		・愛ふれ活動以外の高齢者・障がい者	5 名
		・自治会役員	5 名
		・ボ	15 名
		・	名
		・	名
		参 加 者 合 計	40 名
⑦	網掛けの「事業助成金」欄が申請額になります。申請額は15,000 円以内です。 民間バス等を借りて事業を行い、助成金申請をする場合は「バス等借上助成金」欄にも記入してください。申請額は 30,000 円以内です。	・事業助成金	15, 000 円
		・バス等借上助成金	円
		・自治会負担金	9, 000 円
		・参加者負担金	4, 000 円
		・	円
		・	円
		収 入 合 計	28, 000 円
⑧	概算の事業支出を記入します。収入合計と支出合計は同額となります。 項目にない場合は、空欄に記入してください。（⑥⑦⑧）	・講師謝礼	円
		・民間バス等借上料	円
		・保険料	1, 120 円
		・施設・備品借上料	円
		・入場料・使用料	2, 000 円
		・食材料購入費	円
		・送料・通信費	300 円
		・印刷消耗品費	2, 580 円
		・昼食弁当代（@500×40名）	20, 000 円
		・写真代	2, 000 円
		・	円
		支 出 合 計	28, 000 円
⑨	どのような内容の事業なのかわかるように記入してください。	○昼食をとりながらの懇談を中心にふれあいと交流の増進を図る ○昼食後、参加者の特技を生かし歌・演芸を披露。 ○雑談などにより、対象者の方々の状況を把握し、今後の活動にもつながることを期待しています。	
⑩⑪	第1号様式と同じ場合は、記入しなくて結構です。		

あわせて5名以上になるように申請してください。

（3）申請書が提出されましたら、内容を点検・精査し、その後、決定通知書を送付いたします。その際に申請書のコピーを同封いたします。

第4号様式記入例（決算・終了報告のとき）

（1）決定通知書送付時に同封された申請書コピー右側の「決算・終了報告」欄を記入してください。

番号		・申請	決算・終了報告	
①	社	自治会	社　協	自治会
②	下記の内	たします。 月　1日 会　郎　㊞	下記の内容で決算・精算報告いたします。 令和3年　7月30日 会長　福 祉　太 郎　㊞	
③	ふれ	会	同　左	
④		10 日（予定）	令和3年 7 月 15 日	
⑤	総合	ター	同　左	
⑥	・愛ふれ	15 名	・愛ふれ活動対象者	12 名
	・愛ふれ	5 名	・愛ふれ活動以外の高齢者・障がい者	6 名
	・自治会	5 名	・自治会役員	5 名
	・ボラン	15 名	・ボランティア	14 名
	・	名	・民生委員・児童委員	1 名
	・	名	・	名
	参 加	40 名	参 加 者 合 計	38 名
⑦	・事業助	15, 000 円	・事業助成金	15, 000 円
	・バス等	円	・バス等借上助成金	円
	・自治会	9, 000 円	・自治会負担金	9, 887 円
	・参加者	4, 000 円	・参加者負担金（38名×@100）	3, 800 円
	・	円	・	円
	・	円	・	円
	収	28, 000 円	収 入 合 計	28, 687 円
⑧	・講師謝	円	・講師謝礼	円
	・民間バ	円	・民間バス等借上料	
	・保険料	1, 200 円	・保険料　（行事用保険）	1, 064 円
	・施設・備	円	・施設・備品借上料	円
	・入場料	2, 000 円	・入場料・使用料	2, 000 円
	・食材料	円	・食材料購入費	円
	・送料・通	300 円	・送料・通信費	1, 040 円
	・印刷消	2, 500 円	・印刷消耗品費	1, 000 円
	・昼食弁	20, 000 円	・昼食弁当代（@600×38名）	22, 800 円
	・写真代	2, 000 円	・写真代	783 円
	・	円	・	円
	支	28, 000 円	支 出 合 計	28, 687 円
⑨	○昼食 の増進	心にふれあいと交流	私たちの自治会では、初めて実施した事業でしたが、参加者から楽しかったとの声が多く、非常に好評でした。	
	○昼食	て歌・演芸を披露。	また、次回からは「健康」や「介護」をテーマとした話が聞きたいという要望が多く、専門の講師を招き実施していきたいと考えています。	
	○雑談 後の活	の状況を把握し、今 しています。		
⑩⑪				

事業の開催結果、収支決算を記入します。

申請時と内容が同じ場合は「同左」等で結構です。

あわせて5名以上になるように。

事業の収支決算を記入します。

※バス等借上助成を受けた場合は、必ず領収書のコピーを添付してください。領収書は旅費全体のものではなく、バス等借上金額がわかる領収書を添付してください。

事業内容が当初の予定から変更になった場合は、実際に行われた事業内容を記入してください。
また、事業を行ってみての感想や参加者の声などご自由にご記入ください。

愛のふれあい交流事業（地域交流の集い活動）助成金の透明性の確保・適切な使途のお願い

当事業の活動及び活動を支える自治会への助成金システムは、地域福祉を推進するうえで長い間重要な役割を担ってきました。

この助成制度を今後も継続していくうえで、助成金の透明性の確保や事業の目的に沿った誤解をまねかない使い方が必要であると考えております。

そこで、当事業助成金交付を受ける自治会におかれましては、下記の事項についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 透明性の確保について

助成金の収支については自治会会員に公開することが、透明性の確保につながります。次の事項についてご協力ください。

- **自治会会計決算書に当事業助成金収支を記載**
- **当事業助成金を受けた自治会は自治会会計決算書（写）を社協に提出**
  ※提出は総会終了後（特に期日はもうけていません）で結構です。

2. 誤解をまねかない助成金の使い方について

助成金は市補助金を財源としていることもあり、事業の公益性が高く、使途が適切であり、誤解をまねかないよう心掛ける必要があります。次のような事例は誤解を招く可能性がありますので、改善例のように変更するようご協力ください。

～事例は次ページ～

《事例1》 助成金のみで事業を実施し、全額飲食費で使用している。

～改善例～

① 自治会負担金や参加費負担金を徴収し、費用の一部を負担する。（予算総額が変わらない場合は、必要な助成金を減額して申請する）

② 全額を飲食費に使用するのではなく、講師を招く等の費用に一部を振り分ける。

		望ましくない決算例
収入	・事業助成金	15，000円
	・自治会負担金	円
	・参加者負担金	円
	・	円
	収 入 合 計	15，000円
支出	・講師謝礼	円
	・昼食代	15，000円
	・	円
	・	円
	支 出 合 計	15，000円

改善

		改善例①	改善例②
収入	・事業助成金	7，000円	15，000円
	・自治会負担金	4，000円	円
	・参加者負担金	4，000円	円
	・	円	円
	収 入 合 計	15，000円	15，000円
支出	・講師謝礼	円	7，500円
	・昼食代	15，000円	7，500円
	・	円	円
	・	円	円
	支 出 合 計	15，000円	15，000円

《事例2》 助成金を使用し、商品券・生活必需品などをプレゼント。（レクリエーションなどで使用する常識的な範囲での景品などは除く）

～改善例～

● 商品券などのプレゼント費用は、自治会負担金や参加者負担金などの財源を使用する。

		望ましくない決算例
収入	・事業助成金	15，000円
	・自治会負担金	円
	・参加者負担金	円
	・	円
	収 入 合 計	15，000円
支出	・プレゼント代	15，000円
	・	円
	・	円
	・	円
	支 出 合 計	15，000円

改善

		改善例
収入	・事業助成金	15，000円
	・自治会負担金	15，000円
	・参加者負担金	円
	・	円
	収 入 合 計	30，000円
支出	・講師謝礼	5，000円
	・昼食代	5，000円
	・レクリエーション材料費	5，000円
	・プレゼント代	15，000円
	支 出 合 計	30，000円

ご案内

地域交流の集い活動に活用できる人材のページ

「さぁ地域交流の集い活動をやってみよう！」

とは言うものの、なかなかいい企画が思いつかない･･･
とのお悩みもたくさんお持ちのことと思います。

もちろん、対象者の方々が集い、皆さんで語り合うだけでも、十分立派な地域交流の集い活動です。
しかし、「皆さんに集まってもらうために、何か興味の湧くお話やゲームなどで専門の方に来てもらい、交流の場を盛り上げてもらいたい」と思っている方もいらっしゃると思います。

そこで！

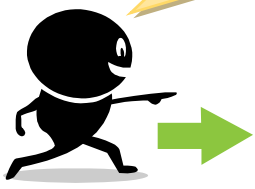
集いに来てくれる専門機関や、ボランティアを実践している団体･個人の方々などを、次ページ以降にご紹介しております。

内容をご覧のうえ、「集いでこんなことをしてみたい」と思った時、その道の専門家に依頼をしてみるのはいかがでしょうか。詳しくは、各連絡先へお問い合わせください。

自分たちの地域でも探してみよう！

今回ご紹介しているテーマ以外にも「そば打ち」「料理教室」「絵手紙」また、「お花見･紅葉狩りなど野外遠足」などなど･･･いろいろなテーマが考えられます。
自分たちの地域で特技や趣味をもった方を探して、指導をお願いしてみてはいかがでしょうか。
また、自分たちの地域を散策したり、少し遠出をしたりと、交流を通じながら、心身の健康増進を促す機会としてみてはいかがでしょうか。

次ページ以降



～公的機関の出前講座～　編

社会福祉協議会の出前講話

無料

具体的な社協事業などの内容について説明します。

主なテーマ

・社協の事業説明
・ボランティアってなぁに
・成年後見制度について　など

◆40分～1時間程度
◆日程、場所、説明時間等、出来る限り依頼側の要望に対応します。

▶ **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14－87　☎385-1234

健康講話のお知らせ

無料

保健センターでは、健康づくりに関する講話を行っております。
保健師、管理栄養士、歯科衛生士などが出向きますのでぜひご利用ください。

主な健康講話のテーマ

・E-リズム体験（江別オリジナルのリズムエクササイズ　イス編・簡単バージョン）
・バランス良く栄養をとりましょう（管理栄養士の講話）
・お口からはじめる健口（けんこう）生活：①歯周病編　②介護予防編（歯科衛生士の講話）　など

◆各団体年2回を限度に派遣します。
◆実施予定日の1か月前までにご連絡ください。
◆講話は原則30分程度。
◆E-リズム体験は30分～1時間程度。

健康相談にも応じます。

▶ **江別市保健センター　健康づくり・保健指導担当**

江別市若草町6－1　☎385-5252

交通安全・防犯に関する講話

無料

最近、交通事故にあう高齢者の方が増えています。また、「安全に暮らす」ために必要な知識を身に付けておくのも大切なことですね。

交通事故や犯罪に巻き込まれないためのポイントを学ぶ機会を設けてみてはいかがでしょうか。

◆実施予定日については、事前にご相談ください。

▶ **江別警察署**　江別市弥生町23　　☎382-0110

交通安全に関する講話 ・・・ 交通課
防犯に関する講話 ・・・・・・ 生活安全課

交通安全教室

無料

「交通安全教室」を開催しませんか？

30分から1時間ほどお時間をいただき、DVD やゲームなどを通して、日頃、気を付けるべき交通安全のポイントを再確認しましょう。

市の交通教育指導員が、ご希望の場所にお伺いします。

（教室開催は6月～3月の平日　午前9時から午後5時まで）

◆交通安全教室のお申込み、ご不明な点はお気軽にお問合せください。

▶ **江別市生活環境部市民生活課市民活動係**

江別市高砂町6　　☎381-1093

住宅防火に関する出前講座

無料

全国における住宅火災による死者の約6割は高齢者が占めている状況です。住宅における火災予防のポイントや住宅用火災警報器の維持管理等について、ご希望に応じた内容でお話しします。

皆さんで、住宅防火の話を聞いてみてはいかがでしょうか？

メニュー：1　火災予防について
　　2　住宅用火災警報器について
出前日時：ご希望の日時を実施予定日の1か月前までにお申し出ください。
　　1回あたり30分から1時間程度で対応します。
出 前 先：ご指定の市内各所

▶ **消防本部予防課予防係**

江別市野幌代々木町80－8　☎382-5430

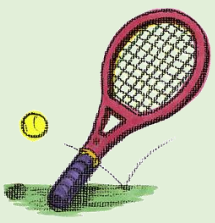
軽スポーツ出前指導

無料

スポーツ推進委員が、指導に来てくれます。
みなさんで軽スポーツを楽しんでみてはいかがでしょうか。

対　　象：江別市民10名以上の団体・グループ
メニュー：ミニテニス、フライングディスク、ユニカール、ハッピーボウリング、
　　ティーボール、長なわとび＆バンブージャンプ、室内ペタンク（ニチレクボール）、
　　輪なげ、ラダーの9種類
出前日時：ご希望の日をお申し出ください。（お応えできないこともあります）
　　なお、1回2時間程度でご指定ください。
出 前 先：ご指定の市内各所

◆実施予定日の1カ月前までにお申し込みください。
◆用具は江別市民体育館にあります。運搬にご協力ください。
◆メニューは変更する場合があります。
◆会場によっては、対応できない種目がある場合があります。



▶ **教育委員会　スポーツ課スポーツ係**

江別市高砂町24－6　☎381-1061

大学版出前講座

無料

江別市内には個性豊かな4つの大学があります。江別市では平成26年度から各大学と協力し、大学教員による40テーマの出前講座を行っております。

◆原則、10人以上が参加する集いが対象です。
◆実施予定日の1か月前までにご連絡ください。
※講師の関係でメニューが変更になる可能性がありますのでご了承願います。
※調整にはお時間がかかりますので、希望時期が決まりましたら、早めにご連絡をお願いします。

【協力大学】　酪農学園大学　　北翔大学
札幌学院大学　　北海道情報大学

講座の詳細はインターネットで市ホームページ「江別市大学版出前講座」を検索してください。

https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/kikaku/25156.html

▶ **江別市企画政策部企画課（大学連携担当）**

江別市高砂町6　　☎381-1015

地域包括支援センターの出前講話

無料

◆出前講話のメニュー

メニュー	概　要
介護予防（フレイル予防）	フレイルとは虚弱状態となり、介護が必要な状態になることを言います。フレイルを予防し、いつまでも自分らしく生き生きと暮らすために、年齢による心身の衰えを予防するポイントをお伝えします。
認知症予防	認知症を正しく理解し、予防するために、認知症の症状や認知症予防に効果のある食事や運動、生活習慣等について、わかりやすくお伝えします。
介護保険制度	介護が必要になった時に備えて、介護保険の仕組みと利用の仕方について具体例を用いてご説明します。
介護予防体操	運動する習慣を持つことは、転倒の予防や認知症の予防など、介護予防全般にとても効果があります。皆様が楽しく取り組める介護予防体操をご紹介します。

各種、専門職による講話を行っています。皆様のご要望に応じて、出来る限り柔軟に対応いたしますので、詳しくは担当の地域包括支援センターへお問い合わせください。

◆地域包括支援センター所在地と担当地域

名　称	所　在　地	担　当　地　域
江別第一地域包括支援センター	江別市若草町6-1 いきいきセンターわかくさ ☎389-4144	条丁目、萩ヶ岡、緑町東、緑町西、王子、一番町、弥生町、工栄町、元江別、若草町、元町、牧場町、元江別本町、見晴台、対雁、いずみ野、高砂町、向ヶ丘、美原、篠津、中島、八幡、角山
江別第二地域包括支援センター	江別市上江別東町 7-26 江別管工事業協同組合2階 ☎389-5420	上江別、上江別東町、上江別西町、上江別南町、ゆめみ野東町、ゆめみ野南町、東光町、江別太、萌えぎ野西、萌えぎ野東、萌えぎ野中央、朝日町、あけぼの町、豊幌、豊幌花園町、豊幌美咲町、豊幌はみんぐ町
野幌第一地域包括支援センター	江別市中央町31-6 ☎381-2940	野幌町、野幌松並町、野幌末広町、野幌住吉町、野幌代々木町、新栄台、中央町、野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、東野幌、野幌東町、東野幌町、幸町、錦町、あさひが丘、野幌若葉町、東野幌本町、緑ヶ丘、元野幌、西野幌
大麻第一地域包括支援センター	江別市大麻中町2-17 メディカルビルおおあさ1階 ☎388-5100	文京台、文京台東町、文京台南町、文京台緑町、大麻、大麻桜木町、大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町、大麻高町、大麻宮町、大麻中町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町、大麻栄町、大麻泉町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

ボランティア団体・市民団体

～福祉・ボランティア・健康・生活～　編

団体名	愛郷（あいきょう）ボランティアの会
出前講座名・出演メニュー名	愛郷ボランティアの会活動の説明
内　容	愛ふれ訪問活動、独居高齢者・要援護者を招待して、健康教室・昼食会・日帰り温泉・対象者宅の春秋清掃作業・冬期間除排雪作業など実践している活動をご紹介します。
時　間	40分～
対象人数	特になし
受講者・参加者が用意するもの	特になし
費用	なし
特記事項	依頼者側の希望に合わせます。
担当者・連絡先	担当者：田原　久美子　　TEL・FAX：383-2212

団体名	江別市女性団体協議会
出前講座名・出演メニュー名	江別市女性団体協議会の活動 ごみの減量のためダンボール箱で生ゴミを堆肥に!!
内　容	「野菜づくりは土づくりから」 ダンボール式容器で実習します
時　間	30分～1時間程度
対象人数	2～3名以上
受講者・参加者が用意するもの	特になし
費用	なし
特記事項	依頼者側の要望に対応します（会場等）。
担当者・連絡先	担当者：工藤　多希子　　TEL・FAX：381-1388

団体名	江別消費者協会
出前講座名・出演メニュー名	悪質商法から消費者被害を防ぐ講座 体験学習講座
内 容	○地域で起こった事例と消費者被害の防止などの講座 ○食品の着色料・ビタミンＣの含有量・清涼飲料水の糖分を調べる簡易実験講座 ○新聞紙・ハギレ・身近な物で小物づくり講座 ○手作りカルタ・すごろくを使い遊びながら環境を学ぶ講座
時 間	30 時間～1時間30分
対象人数	10人～
受講者・参加者が用意するもの	特になし
費用	無料
特記事項	
担当者・連絡先	担当者:江別市経済部商工労働課内 江別消費者協会事務局 TEL:381-1026 FAX:381-1072

団体名	江別認知症の人の家族を支える会
出前講座名・出演メニュー名	認知症に関する講座
内 容	認知症について(チラシ・パンフレット等活用) ○予防法 ○介護家族への支援・相談 ○早期発見 ○その他認知症に関すること
時 間	1時間程度
対象人数	10人～30人
受講者・参加者が用意するもの	筆記用具
費用	会場までの往復交通費(講師1～2名)
特記事項	日程、場所、時間、内容等については、出来る限り依頼側の要望に対応します。
担当者・連絡先	担当者:金井 征子(まさこ) 自宅 TEL・FAX:383-3425 いきいきセンターさわまち TEL:387-5657 毎週水・木(10時～15時)

団体名	NPO法人　きずな地域対話士協会
出前講座名・ 出演メニュー名	1. 家族の絆を考える 2. 不登校はなぜ起きるか 3. より美しく老いて、よりよく生きるために
内　容	1. 感謝の心を育てよう 　・親と子どものかかわり　・子どもの理解の基本的な考え方 2. 不登校の要因と兆候 　・登校力を育てるために・・・ 3. 生涯学習と生きがい
時　間	60分
対象人数	50～100人
受講者・参加者が 用意するもの	特になし(筆記用具など)
費用	印刷費
特記事項	パワーポイント使用可
担当者・連絡先	担当者:谷川　幸雄　　TEL・FAX:387-2445

団体名	NPO 法人　ナルク江別
出前講座名・ 出演メニュー名	人生100年時代　生きがいをもった日々を －　楽しくボランティアを一緒に　―
内　容	1. ナルク活動と会員同士の助け合いで健康寿命を延ばそう 2.「できる時に！できる事を！できる方法で！」というナルクの活動方法を紹介しながら活動内容の紹介
時　間	30分
対象人数	特になし
受講者・参加者が 用意するもの	特になし(筆記用具)
費用	なし
特記事項	日程・場所・時間など話し合いに応じます。
担当者・連絡先	担当者:近藤　君江 事務所:江別市大麻新町14-9 TEL・FAX:388-1251(平日　10;00～15:00)

団体名	北海道中国武術倶楽部
出前講座名・ 出演メニュー名	出前講座 ➔ 太極拳・カンフー はじめて講座 芸能披露 ➔ 太極拳とカンフーの世界
内 容	＜出前講座＞ 講師の指導のもと、参加者のみなさんで太極拳とカンフーの練習を行います。ゆっくり無理なく体を動かしたい方は太極拳へ。体をたくさん動かしたい方はカンフーをお勧めします。足腰の筋肉を鍛えます。 ＜芸能披露＞ 講師や選手による太極拳やカンフーの演武を披露いたします。素手や器械（武器）を使って行う演武もあり、特に当団体の上級選手による演武は必見です。
時 間	出前講座➔1 時間30分　　芸能披露➔10分～20分
対象人数	出前講座➔10～20名 ※会場の広さにより変動あり
受講者・参加者が用意するもの	出前講座➔運動着・上靴・汗を拭くタオル・飲み物（水分補給）
費用	出前講座➔1人500円　芸能披露➔応相談
特記事項	日程や時間などは応相談ですが、場所においては、出前講座・芸能披露ともに種目の特性上、比較的広い場所が必要です。
担当者・連絡先	担当者:石山 ゆい　　TEL・FAX:389-9800

団体名	要約筆記サークル ぷらす ONE
出前講座名・ 出演メニュー名	文字で話そう、書いて伝えます
内 容	要約筆記は、聴こえにくい人のために、文字で書いて伝える通訳です。 ちょっとしたコツと基礎を学び、高齢者はじめ身近な人とのコミュニケーションに活かしましょう。
時 間	1時間～1時間30分程度
対象人数	応相談
受講者・参加者が用意するもの	筆記用具
費用	なし
特記事項	内容、時間等、応相談。
担当者・連絡先	担当者:山田 久美子　　TEL・FAX:382-0136

団体名	笑舎(わらいや)
出前講座名・ 出演メニュー名	①笑いヨガ　インストラクターの派遣 ②シナプソロジー　インストラクターの派遣
内　容	①笑いの健康効果、笑いヨガについてお話しさせていただき、笑いヨガを体験していただきます。 笑いヨガは、笑う動作をする体操とヨガの呼吸法を組み合わせた健康法です。ヨガのポーズはとりません。ヨガマット等の道具や特別な服装も不要です。身体が硬くても、痛いところがあっても、座ったままでも行うことができます。 ②シナプソロジーは、脳活性化プログラムです。 机上で書き取りや計算等を行う脳トレと違い、声を出したり身体を動かして行うものですので、楽しみながら取り組んでいただけます。
時　間	①15分～1 時間程度　　②20分～30分程度
対象人数	①②何人でも可
受講者・参加者が 用意するもの	①概ね30分以上では水分補給用のペットボトルのお水等をご用意ください。 ②特にありません。
費用	①②交通費＋講師料(ご予算に応じて)
特記事項	
担当者・連絡先	担当者:堀木　理恵　　TEL・FAX:386-2321

団体名	手話歌「あやとり」
出前講座名・ 出演メニュー名	手話歌
内　容	懐かしい歌に手話をつけて表現し、見て聞いて口ずさんでもらって楽しんでいただけるような内容でお届けします。
時　間	30分～1時間程度
対象人数	応相談
受講者・参加者が 用意するもの	なし
費用	なし
特記事項	CDプレーヤーを使用するので電源が使える場所。
担当者・連絡先	担当者:長田　真紀　　TEL・FAX:386-0508

ボランティア団体・市民団体

～趣味・娯楽・芸能・演芸～　編

団体名	江別SD・Iの会
出前講座名・出演メニュー名	社交ダンス
内　容	社交ダンス披露 簡単なダンス指導
時　間	特になし
対象人数	特になし
受講者・参加者が用意するもの	動きやすい服装、上履きシューズ
費用	特になし
特記事項	大きな広間が必要
担当者・連絡先	担当者:三上　健（たけし）　　TEL・FAX:385-1354

団体名	江別子ども劇場「江別子ども演劇クラブ」
出前講座名・出演メニュー名	江別子ども演劇クラブによるパフォーマンス
内　容	（小学生の子ども達による）演劇・ペープサート・朗読・ダンスなど
時　間	30分くらい（要相談）
対象人数	何人でもOK
受講者・参加者が用意するもの	特になし
費用	特になし
特記事項	子どもたちの学校が休みの時にしか出演できません。
担当者・連絡先	担当者:佐藤　ひとみ　　TEL:090-1309-8129　FAX:382-8192

団体名	江別創造舎
出前講座名・出演メニュー名	江別カルタで辿る江別物語
内 容	江別の文化・歴史を題材とした江別カルタ（2013 年江別創造舎製作）を活用した講話と江別カルタ大会を開催 ①講話と江別カルタ大会 ②江別カルタ大会のみ
時 間	①1時間～1 時間30分　　②40分～1時間
対象人数	応相談
受講者・参加者が用意するもの	特になし（※講話の際筆記用具）
費用	原則なし ☆レンガ型江別カルタサイズの場合、会場への運搬がメンバーで対応できない場合のみ支援下さい。
特記事項	▶ 連絡はメールを優先して下さい。 ▶ カルタサイズ（トランプサイズ・レンガ型サイズ）をご指示下さい。
担当者・連絡先	担当者：田口　智子　　TEL・FAX：387-4194 メール：taguchi@hokusho-u.ac.jp

団体名	江別レクリエーション協会
出前講座名・出演メニュー名	レクリエーション体験
内 容	体を使ってコミュニケーション等を楽しみながら交流を深める。 （〇体を動かすこと 〇うた 〇ゲーム　　等）
時 間	特に指定なし
対象人数	30名程度（相談にのります）
受講者・参加者が用意するもの	特になし
費用	5，000円位（相談にのります）
特記事項	
担当者・連絡先	担当者：浦　令美　　TEL・FAX：383-3988

団体名	風の子文庫
出前講座名・ 出演メニュー名	風の子文庫　お話しの会
内　容	○絵本のよみきかせ　　○紙芝居(大型) ○ペープサート　　○その他
時　間	30分～1時間程度
対象人数	10人～30人
受講者・参加者が 用意するもの	なし
費用	交通費程度
特記事項	日程・場所・時間等は面談の上、対応します。
担当者・連絡先	担当者:眞島　紀恵子　　TEL・FAX:386-2983

団体名	語り・ひとり芝居グループ　うるうる亭
出前講座名・ 出演メニュー名	①うるうるちゃんのおはなし会　　②「えべつ俄(にわか)」 ③「えべつ俄(にわか)」+おはなし会
内　容	①日本・世界のむかし話、現代おとぎ話、童話などを動きをつけ、道具を使いながら楽しく語ります。レパートリーたくさんあります。「おばけ話」とかもあります。 ②御存知、8年目になりました「えべつ俄(にわか)」15分ほどの笑えるお芝居。江別は大麻に住むエゾヒグマ、野幌に住むエゾシカ、石狩川をさかのぼって江別についたシャケがくりひろげるドタバタ劇。江別市民必見!! ③　①と②を組み合わせて公演します。
時　間	15分くらいから90分くらいまで調整可能です。
対象人数	～200名まで　　会場によっては400～500名でもOK
受講者・参加者が 用意するもの	なし
費用	5,000円～(予算がない時はご相談ください)
特記事項	今年度、再び江別市観光特使に任命されました。 土佐市、北見市、紋別市、夕張市、札幌市、岩見沢市　等で公演しています。 幼児からお年寄りまでお楽しみいただけます。
担当者・連絡先	担当者:北本　京子　　TEL・FAX:382-4710

団体名	合唱団えぽあ
出前講座名・出演メニュー名	訪問演奏
内　容	小・中・高生を主体とした合唱団による演奏
時　間	30分程度
対象人数	
受講者・参加者が用意するもの	特になし
費用	なし
特記事項	出演できるのは土曜・日曜および夏休み・冬休み期間となります。
担当者・連絡先	担当者:網谷（あみや）　浩二　　TEL:387-3120　FAX:387-3121

団体名	芸能ボランティアサークル「ツィンクル」
出前講座名・出演メニュー名	芸能披露
内　容	皆で歌う（歌詞カード有）、楽器演奏、日本舞踊、フラダンス、歌謡漫談、 マジック　等 ご要望があればお応えします。
時　間	40分～1時間程度
対象人数	特になし
受講者・参加者が用意するもの	特になし
費用	交通費として3千円程度。
特記事項	日程・場所等については、出来る限り要望にお応えしたいと考えてます。
担当者・連絡先	担当者:大山　優　　TEL・FAX:386-3980

団体名	子育て支援ワーカーズ　きらきら
出前講座名・ 出演メニュー名	①未就学児のためのあそびのひろば ②カードゲーム、ボードゲーム、カプラの紹介
内　容	①良質なおもちゃを持参し、あそびの場を提供します。 その中で、昔あそび（お手玉、わらべうた）を取り入れたあそびやあそび方（積木、カプラ）なども組み込みます。 カードゲーム・ボードゲーム紹介、絵本なども持参します。 ②カードゲーム、ボードゲーム、カプラを通して参加者と楽しい時間を過ごします。 年少児～年配の方まで一緒に楽しめるゲーム（ルールは簡単） 指先、頭を使ってお孫さんと楽しめるものばかりです。
時　間	①1時間～2時間位　　②2時間位
対象人数	①親子向け　20人位　　②子どもから大人まで　15人位
受講者・参加者が 用意するもの	①②共になし　依頼者が参加人数にあったスペースをお願いします。 ②は机が4本～6本程あると体が楽です。
費用	①②実費交通費＋おもちゃ運搬費（1,000 円）＋1 時間（3,240 円 2 人分） 1時間（3,240 円 2 人分）については相談に応じます。
特記事項	・上記の2つは参加者が一緒に楽しむもので、きらきらが披露するものではありません。 ・要望に応じて日程・場所　対応させていただきます。
担当者・連絡先	担当者：石澤　真希　　TEL：090-5072-5642　FAX：385-5641

団体名	札幌斎藤支部門人会　大麻千鳥会
出前講座名・ 出演メニュー名	民謡・民舞
内　容	民謡・民舞などの芸能披露
時　間	40分～1 時間程度
対象人数	30名程度
受講者・参加者が 用意するもの	なし
費用	無料
特記事項	日程・場所については、依頼者の要望に応じます。
担当者・連絡先	担当者：斉藤　賢一　　TEL・FAX：381-0877

団体名	札幌ハーモニカ倶楽部
出前講座名・出演メニュー名	ハーモニカ演奏
内　容	各種ハーモニカを中心に、ギター、パーカッションを加えた編成のハーモニカ合奏です。数名から20数名のグループで演奏します。曲名は、童謡から歌謡曲、クラッシックまで対象者にあわせて選びます。
時　間	30分程度
対象人数	応相談
受講者・参加者が用意するもの	なし
費用	無料
特記事項	日程・場所・時間は依頼者の要望に応じます。
担当者・連絡先	担当者:大谷　壽史（としふみ）　　TEL・FAX:624-6341

団体名	大正琴サークル花つづり会　えべつキーハープアンサンブル
出前講座名・出演メニュー名	大正琴の演奏会
内　容	イベント、アトラクション他、ご要望に応じて実施します。
時　間	30分位
対象人数	10名～
受講者・参加者が用意するもの	なし
費用	無料
特記事項	日程他、出来る限り依頼側の要望に対応します。
担当者・連絡先	担当者:竹内　静枝　　TEL・FAX:381-1667

団体名	長生民謡会
出前講座名・ 出演メニュー名	（民謡玉手箱） やさしい民謡教室　等
内　容	○民謡発表 ○獅子舞 ○三味線・尺八演奏
時　間	30分～1時間程度
対象人数	応相談
受講者・参加者が 用意するもの	椅子3個
費用	無料
特記事項	日程・場所・時間等依頼者側の要望に対応します。
担当者・連絡先	担当者:岩上　武幸　　TEL・FAX:386-1613

団体名	プアナニ・フラサークル
出前講座名・ 出演メニュー名	フラダンス
内　容	出前講座　➔　フラダンス体験会 出演メニュー　➔　フラダンス披露
時　間	出前講座　➔　1時間程度 出演メニュー　➔　20分～40分
対象人数	応相談
受講者・参加者が 用意するもの	出前講座　➔　動きやすい服装・飲み物、音響(ラジカセ等) 出演メニュー　➔　音響(ラジカセ等)
費用	出前講座　➔　応相談 出演メニュー　➔　交通費程度
特記事項	
担当者・連絡先	担当者:堀内　真知子　　TEL:090-2695-9573　FAX:386-8787

団体名	ひょとこ　ほほえみ
出前講座名・出演メニュー名	ひょっとこ踊り
内　容	ひょっとこ踊りのなかでソーラン節には鳴子を皆さんと一緒に持ち、また最後は北海盆踊りを楽しんでいただけるようにしております。
時　間	30分～40分程度
対象人数	何名からでも
受講者・参加者が用意するもの	特にありません
費用	会場までの往復交通費
特記事項	10名の内5名は介護職に従事している為に全員揃う日は練習日。人数の多いご依頼は2か月前迄下さればうれしいです。
担当者・連絡先	担当者:園田　廣子　　TEL・FAX:386-2337

団体名	大正琴サークル・ハーモニー
出前講座名・出演メニュー名	大正琴の演奏会
内　容	イベント他　ご要望に応じます。
時　間	30分位
対象人数	応相談
受講者・参加者が用意するもの	無し
費用	無料
特記事項	日程・時間は依頼者側の要望に対応します。
担当者・連絡先	担当者:荻原　愛子　　TEL・FAX:384-5812

団体名	NPO 法人　あじさい亭
出前講座名・ 出演メニュー名	ふれあい交流サロン「あじさい亭」の事業概要について
内　容	当法人が運営している地域高齢者の交流サロン「あじさい亭」の活動経緯と事業概要をご紹介します。 1. 事業概要 喫茶、食事会、脳トレ健康麻雀、カラオケ、PC教室、笑活会（笑いヨガ）、川柳会、など 2. 自治会主催の愛のふれあい交流事業のご支援 お食事、お食事後の喫茶、笑いヨガ（講師）、カラオケなどの各種メニューのご提供（有料）と企画書の作成（無料）などのサポート
時　間	30分程度
対象人数	制限なし
受講者・参加者が 用意するもの	制限なし
費用	無料
特記事項	・出前講座の開催日時等は、事前に調整させていただきます ・愛ふれ事業のご支援は、随時、ご相談させていただきます
担当者・連絡先	担当者：船戸　實　　TEL：090-8903-2595　FAX：386-2788

団体名	お笑い宅急便
出前講座名・ 出演メニュー名	腹話術、演歌体操、お笑いマジック、自作大型仕掛紙芝居
内　容	会場により（学校、一般、施設等）内容を変更させていただきます。
時　間	30分～40分
対象人数	制限なし
受講者・参加者が 用意するもの	特になし
費用	ボランティアです。ご予算があれば交通費程度
特記事項	
担当者・連絡先	担当者：中川　孝　　TEL：090-3777-0598　FAX：382-9367

団体名	江別マンドリンアンサンブル　コンパーニョ
出前講座名・出演メニュー名	マンドリン合奏
内　容	マンドリン、マンドラ、ギターなどで編成したマンドリン合奏をお聞かせします。演奏曲は、童謡、唱歌から歌謡曲、映画音楽などです。演奏に合わせて歌ってもらうことも可能です。3名から15名で演奏します。
時　間	30分～50分
対象人数	10名～50名
受講者・参加者が用意するもの	特にありません
費用	演奏者1名につき1，000円程度（要相談）
特記事項	演奏曲目、演奏人数については、ご相談ください。日程・場所はできるかぎり要望にお応えします。
担当者・連絡先	担当者：齋藤　裕之（やすゆき）　　TEL・FAX：387-4820

団体名	手作り紙芝居「なかま」
出前講座名・出演メニュー名	手作り紙芝居の上演及び芸能等披露
内　容	・手作りした紙芝居上演：新作から旧作・5～6演目 ・花咲かじいさん、うらしま太郎　他 ・手あそび、手品　等 ・参加者と一緒に歌う、なつかしい歌　等
時　間	40分～1時間程度
対象人数	応相談
受講者・参加者が用意するもの	特になし
費用	交通費程度、要相談
特記事項	日程・場所・時間等、出来る限り依頼側の要望に対応します。
担当者・連絡先	担当者：赤杉　政則　　TEL・FAX：381-0472

団体名	江別市芸能赤十字奉仕団(渡辺八章会)
出前講座名・出演メニュー名	芸能
内　容	民謡、民舞、三味線、尺八、演奉
時　間	30分～1時間程度
対象人数	応相談
受講者・参加者が用意するもの	音響設備器具(なければ持参します)
費用	なし
特記事項	日程・場所・時間等、依頼者側の要望に対応します。
担当者・連絡先	担当者:亀田　利勝　　TEL・FAX:383-8303

団体名	文京台一輪車クラブ
出前講座名・出演メニュー名	一輪車演技
内　容	音楽(CD)に合わせて(小学生～大人) グループ、ペア、ソロの一輪車演技
時　間	1時間以内
対象人数	なし
受講者・参加者が用意するもの	なし
費用	なし
特記事項	○土・日曜日および夏休み冬休み期間 ○一輪車演技の為、6m×6m 位のスペース
担当者・連絡先	担当者:岩本　栄三　　TEL・FAX:386-8963

団体名	北海道カーリンコン協会
出前講座名・ 出演メニュー名	①カーリンコン体験講座 ②インストラクター養成講座
内　容	①カーリングの氷上を床上に、ストーンを表裏(赤・緑)の2色の円盤(ディスク)に改良して交互に投げ合い、どちらがポイント(的)に近づいているかを競う簡単なスポーツで、年齢を問わず障がいのある人もない人も誰でもが簡単に楽しめ幅広い交流が可能です。フレイル(虚弱)予防・介護予防や健康寿命延伸に期待ができます。 ②インストラクターとは カーリンコンって、どんなスポーツ？そして競技ルール、審判スタッフの役割、ディスクの投げ方などの知識を習得し、カーリンコンの啓発と普及活動を通じて、地域社会の人々の健康増進、地域社会の活性化を推進できる人を養成する講座です。
時　間	①90分から2時間以内　　②4時間
対象人数	①6名以上24名以内　　②5名以上
受講者・参加者が 用意するもの	運動靴、動きやすい服装、タオル、水分補給用ペットボトル等
費用	①1コート3，000円(24名以内) ②1人6，500円(テキスト代、協会年会費含む)
特記事項	依頼者側の要望に対応いたします。(日時・場所) カーリンコン出前教室依頼申込書にて受付(FAX) 　*申込書、北海道カーリンコン協会ホームページよりダウンロード可能
担当者・連絡先	担当者:葛西　尚之　　TEL:090-5950-4758　FAX:751-8756

団体名	ボランティアグループ　オリオンの帯（おび）
出前講座名・出演メニュー名	①絵本、童話、紙芝居等の「おはなし会」（幼児～大人） ②工作（幼児～大人） ③高齢者対象の「お楽しみ会」レクリエーション ④人形劇
内　容	①参加者の年齢に合わせた、絵本、童話、紙芝居の読み語り ②参加者の年齢に合わせた工作を作り、それで遊ぶ ③A「手作りクイズ」は参加者と共に、答えを考え楽しく参加してもらう 　B簡単な「口腔体操」、「手足の体操」、「リズム体操」等に参加してもらう 　C「とび出す紙芝居」、「大型紙芝居」、「短い人形劇」、「ボードビル」等 ④人形劇（舞台設置） 　本格的な人形劇、パネルシアター、ボードビル、大型紙芝居等
時　間	①②　20分～40分　　③　30分～50分　　④　30分～60分
対象人数	①②　5人～30人　　③　10人～40人　　④　20人～100人
受講者・参加者が用意するもの	なし
費用	交通費程度（応相談）
特記事項	日程・場所・内容等の要望に対応させていただきますが、日程は出来れば土曜・日曜日に出演させていただきたいと思います。 ①②③は2名の出演者で行います。 ④の依頼は2か月前までにご連絡をお願い致します。 （小学生も出演する為、学校休み時だけの日程でお願い致します）
担当者・連絡先	担当者：小野　久仁子　　TEL・FAX：382-2605

ボランティア保険のご案内

楽しく充実した活動を続けていくために

ボランティア活動保険　（愛のふれあい活動）

ボランティアの皆さんが安心して「愛のふれあい交流事業」を活動していただくための保険です。保険料は社協で負担いたします。加入希望の場合は、第3号様式の【保険】の欄に○をつけてください。
（加入日の翌日から当該年度終了日までが補償期間となります。）

【傷害事故】 家から集いの会場までの往復路での交通事故や集い会場での自身のケガ等
【賠償事故】 他人（活動対象者等）にケガを負わせてしまったり、財物・名誉毀損・プライバシー侵害等により損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合。

（1）ケガの補償

清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。

ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。

活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。

（2）賠償責任の補償

入浴ボランティア活動中、誤ってお年寄りにケガをさせた。

家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。

自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。

ボランティア行事用保険　（地域交流の集い活動）

行事の参加者全員（ボランティア・お年寄り等の参加者）を対象とした行事用保険です。
「傷害事故」と「賠償事故」の2種類に対応していますが、開催日ごとに事前に加入申込が必要です。
（概ね行事の1週間前までに保険料を添えてお申し込みください。）

【掛　　金】 1名につき1日28円（A1プラン）
※1行事の最低保険料として20名分の保険料が必要です。
最低保険料掛金（560円）を社協で負担いたします。
560円（20名分）を超える保険料は自治会でご負担ください。
【窓　　口】 社協にて加入受付をしております。
詳しくは、直接お問い合わせください。

よくある　お問い合わせ・質問「Q&A」

Q１　愛のふれあい活動では、具体的にどのような活動をするのでしょう？

A1　直接、訪問や電話による安否確認をします。

対象者の意向などにより「そっと見守る」という方法が必要な場合も考えられます。
また、見守り、声掛け訪問をはじめ、日常生活の援助や外出支援などといった様々な活動が考えられますので、対象者が必要とされる取り組みを行いましょう。

Q２　地域交流の集い活動の対象者は、愛ふれ活動対象者だけですか？

A2　地域交流の集い活動の対象者は、愛ふれ活動対象者だけではなく、地域の高齢者・障がい者の方々全般を対象としています。

例えば、「健康なので愛ふれ活動は必要ないが交流会には参加したい」という高齢者の方は対象者になります。

申請書では、第4号様式の「愛のふれ活動対象者」と「愛ふれ活動以外の高齢者・障がい者」を合算した参加者数が5名以上であれば助成金の対象になります。

Q３　地域交流の集い活動の助成の対象条件はどんなものがありますか？

A3　「対象者のために開催する事業であること」「高齢者や障がい者などの交流を目的としていること」「自治会主催事業であること」「対象者5名以上が参加すること」が助成条件です。

活動目的にあわないものは助成の対象になりません。以下は助成金対象とならない例です。詳細は事務局にご相談ください。

【例】

〇ボランティア会議・・・対象者が参加していない。対象者の交流を目的としていない。

〇対象者宅への訪問事業・・・対象者の交流を目的としていない。（愛のふれあい活動の部分になります）

〇お祭り・・・広域の地域行事であり、自治会主催行事ではない。

〇敬老の日記念品贈呈・・・品物を配布（贈呈）するだけの行事は、「対象者のため」「交流を目的」に行う事業とは考えにくい。

〇地域の清掃行事後の交流会・・・主たる目的が清掃である場合、その後の交流会は「おつかれさま的なおらい」の要素が強く、「対象者のため」「交流を目的」に行われる事業とは考えにくい。

〇3～4人程度の交流会・・・対象者5名以上が対象になります。

Ｑ４　地域交流の集い活動の助成金が余りました。どうしたら良いですか？

A4　助成金が余ったときは社協に返還していただきますが、年度内に複数回数事業を実施する場合は、次回以降の事業へ繰越することができます。

例えば、1回目の事業で15，000円の助成を受け、支出額が14，000円だった場合、残金1，000円を2回目以降の事業に繰り越して使用できます。繰越額は、あまり多額にならないように気をつけてください。

最終事業実施後に精算して助成金が余ったときは、社協に返還してください。

Ｑ５　バス等借上助成金の対象条件を教えてください。

A5　地域交流の集い活動を実施するために必要であり、集い参加者が利用する移動にかかる経費が助成の対象となります。

集い参加者が利用する民間バス借上げ代金、タクシー代金などによる移動経費で、領収書などで日時・金額・移動手段の内容が確認できることが助成の条件になります。

【助成対象となる例】

〇民間バス借上やタクシーで移動し、領収書が発行されるもの

【助成対象とならない例】

〇JR等の交通機関利用で領収書が発行されず、内容が確認できないもの

〇温泉旅行代金で入浴代、食事代、送迎代の合計額を記載した領収書しか発行されず、移動のための金額が確認できないもの

〇地域交流の集い活動以外の移動代金

Ｑ６　バス等借上助成金をタクシー代に使用したいが、金額がはっきりしない場合、どのように申請したら良いですか。また複数回数に分けて使用することはできますか？

A6　概算額で申請するか、上限額の3万円で申請する方法があります。

いずれの方法でも剰余金が出た場合は社協に返還していただきます。また、年度内であれば助成金を複数回数に分けて使用することができます。

【バス等借上助成金の使用例】

①バス等借上助成金3万円を申請し、助成金が交付された。

②第1回目集い事業でタクシー代として4，820円を使用した。

③第3回目集い事業で民間バスを借上代として20，000円を使用した。

④第5回目集い事業でタクシー代として3，520円を使用した。

⑤年間使用額を精算した結果、1，660円の剰余金が出たので社協に返還した。

Ｑ７　緊急通報システムを設置したいのですが。
Ｑ８　自治会内の緊急通報システム設置者を教えてください。

A7･8　緊急通報システムは、江別市介護保険課高齢福祉係で設置しています。
当件のお問合せは、☎381－1067（市介護保険課高齢福祉係）へ。

Ｑ９　福祉ベルってどんなものですか？

A9　社協が設置している緊急用の通報装置です。

江別市が設置している緊急通報システム待機者で、緊急時通報先として近隣の方に協力を得られる場合に無料で貸出しています。

福祉ベルは、あらかじめ緊急連絡先（近隣の方等）を登録し、緊急ボタンを押したときに登録先に自動的に通報される装置です。

貸出できる数量は限りがありますので、ご要望にお応えできない場合がありますことをご了承ください。

福祉ベル

Ｑ１０　新型コロナウイルスの影響で地域交流の集い活動が実施できるか、助成金申請締切日まで予定が立たない。

A10　助成金の申請は令和3年度中受付しています。

ご案内している申請締切日以降も令和3年度末までの期間中、申請受付していますので、事業実施の判断がされた時点で申請してください。

Ｑ１１　新型コロナウイルスの影響で予定していた地域交流の集い活動を中止した。（助成金交付済の場合）

A11　中止した事業の地域交流の集い活動助成金は返還してください。

愛のふれあい交流事業実施要綱第6条第4項(1)により助成金を返還していただくことになります。詳しくは、事務局にご確認ください。

江別市社協　検索

- このマニュアルは、江別市社協のホームページでもご覧いただけます。
- 愛のふれあい交流事業の各申請書は、江別市社協のホームページでダウンロードできます。

事業内容や書類の記載方法等
どうぞお気軽にご相談ください

〒069－0811
江別市錦町14番地87　総合社会福祉センター内
☎　（011）385-1234
FAX（011）385-1236
社会福祉法人
江別市社会福祉協議会